

勝手に地域包括ケア！

コミュニティ・デザインの鉄人『小泉圭司』さんが繰り広げる『制度に乗らない』からこそ出来ちゃうその驚愕の仕事たちとは！

経済学部出身の doctor 森田洋之さんのコラム 2017.6.21 から



「スーパーで働いていたとき、朝から晩までずっとスーパーにいるお婆ちゃんがいたんです。どうしてこのお婆ちゃんはずっとスーパーにいるんだろう？他に居場所がない？いや、居場所を探してるのかな？…とか、いろいろ考えちゃったんです。いや、このお婆ちゃんはスーパーまで来てくれるけど、男性だったら外に出ないで自宅で引きこもってるのかも？…今でさえ年金や医療・介護費などの社会保障費が大変と言っている。これから高齢化がもっと進んだらどうなるの？って。…

でも調べてみると、65歳以上の高齢者のうち要介護状態の方々は2割しかいない。後の8割は元気な方々なんですね。で、もしこの元気な高齢者の多くが居場所を探しているんだとしたら、これは大変な社会の損失。高齢になっても、元気なうちは誰かの役に立てばいい。困ってる人もいる、誰かの役に立ちたい人もいる。だったら僕がそのコーディネイト役をやればいい、居場所も作っちゃえばいい。そうしたらみんなの居場所も出来て、介護予防になって…。そんな気持ちで作ったのが、コミュニティ・カフェ『元気スタンド・ぷリズム』。勤めていたスーパーに辞職願を出し、脱サラしての開業でした。」

こう語ってくれたのは、「小泉圭司」さん。埼玉県の新潟市でコミュニティカフェを運営されています。

僕が知る範囲では、おそらく日本一「勝手に地域包括ケア」をやっちゃってる人だと思います。では一体、小泉さん、何をやってるの？…ということで今回は、彼のKCHC (=勝手に地域包括ケア) な仕事を見ていきましょう。

## 「地域包括ケアシステムとは？」

その前に、そもそも「地域包括ケアシステム」って何でしょう？厚生労働省のHPにはこう書かれています。

### 地域包括ケアシステム

「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/chii-ki-houkatsu/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chii-ki-houkatsu/)

我々医療・介護業界の人間にとっての「地域包括ケア」は、ついつい『医療と介護のシステム』とか『医療・介護の連携』などの部分に大きなウェイトが置かれがちです。確かにそれは「地域包括ケアシステム」のとても大切な要素なのですが、でも、それとは別に、厚生労働省は「**住まい**」「**予防**」「**生活支援**」も一体的に提供されるべき、ということをしっかり言っているんですね。

冒頭の小泉さんのお話に出てきた、スーパーで一日過ごしているお婆ちゃん、もし彼女が『地域社会の中で居場所がない』と感じているのなら、それはおそらく『生活に困っている状態』と言えるでしょう。

社会の中で「居場所がない」「阻害されている」と感じることは、非常に「生活」や「健康」の質に影響しますから…。そう考えると、彼女の『社会的な役割』や『居場所』を探しを支援することは、立派な「生活支援」。さらにそれは「介護予防」にも繋がるかもしれません。そういう意味では、小泉さんの発想は、非常に「地域包括ケア的」な発想です。

そして小泉さんの『地域包括ケア』には、医療・介護業界のような確立した制度がない分、ある意味「勝手に、やりたい放題できちゃう！」部分があります。さあ、小泉さんのKCHC＝勝手に地域包括ケアとは一体どんなものなのでしょうか？

## ○暮らしの保健室



小泉さんのカフェでは、月に一回、看護師さんによる「暮らしの保健室」が開かれます。「病院に行くほどではない」「介護を受けるほどでもない」「でも誰かにこの不安を話したい、相談したい」、そんな高齢者は街に大勢います。そうした方々の相談事を、無料でお受けするのが「暮らしの保健室」。訪問看護師・秋山正子さんが新宿で始められたもの（こちらは、毎日開催）を、小泉さんのカフェでも月一回取り入れています。写真のように、地域の医療・介護連携に力を入れておられる、近くの東埼玉総合病院の看護師さんをお呼びしての開催です。

## ○幸せ手伝い隊

こちらは、地域で「役に立ちたい人」と「困っている人」をつなげるサービス。

どちらの方も、会員登録をしてもらい、一回につき少しの謝礼（現金ではなく地域で使える商品券）を通じてつながってもらうサービスです。



お問い合わせ

栄商店会協同組合

### 幸せ手伝い隊 事務局

幸手市栄3-2-105

幸手団地内栄商店街 元気スタンド・ぷライス

電話/FAX: **0480-48-7372**

受付時間 : 月曜~土曜 の9時~18時



この事業は埼玉県地域支え合いの仕組み推進事業を  
幸手市栄商店会協同組合が実施主体として運営しています。



例えば、「電球を変えたいけど、手が届かない」「外出をしたいけど1人では転んだりしないか不安」「単純に話し相手になって欲しい」などなど。具体的な流れは以下の通り。

- 「困っている人」がカフェでチケットを買う
- ↓
- その時、カフェに「困っていること」「手伝って欲しいこと」を伝える
- ↓
- カフェが「役に立ちたい人（サポーター会員）」に依頼する
- ↓
- サポーター会員が手伝いに行く
- ↓
- 謝礼としてチケットが渡される
- ↓
- 手伝った人は、チケットをカフェで商品券に交換する
- ↓
- その時、カフェは「手伝った時の状況」の報告もうける
- ↓
- 手伝った人が商品券を商店街で使う



商品券を受け取った商店はカフェで換金する。

こうして地域経済が良い循環で回っていくわけですね。

ていうか、「困ってる人」「手伝いたい人」の受付も対応も、手伝いの報告管理も、チケットの発行も商品券の管理も、全部小泉さんがやってる！(^\_^)。

つまり、これがやりたいがために、商店街を巻き込んで『地域商品券』を小泉さんの発案で作っちゃった、ということなんですね。困っている高齢者も、誰かの役に立ちたい高齢者も、商店街のお店の人たちも、みんなを繋げてコミュニティを作っていく。小泉さんがコミュニティ・デザイナーと呼ばれる理由は、こういうことなんですね

## ○レンタルセニアカー

まだまだあります。こちらはレンタル・セニアカー。



免許不要の電動車いす（スズキのセニアカー）を購入し、一回500円（4時間）で貸し出しています。

「馴染みのカラオケ店に行きたいけど、足が弱くなったので諦めている」

「仲良しの友達の家まで行きたいけど、往復タクシーは高く付くので・・・」

など、「ちょっとしたお出かけが出来る」だけで、行動範囲をぐっと広げられる、笑顔になれるお年寄り…実は結構多いものです。

小泉さんのところでは近年利用者がぐっと増えて来ていて、もうすぐ初期投資（セニアカー購入代）を回収できそう、とのことでした。



ど、いろいろな部署が出している情報を調べ尽くして網羅し、勝手に冊子にして配る。何でそんなことするの？その答えは最後のページにその答えが書かれていました。

「家から少しでもお出掛けをしたくなるきっかけとして、  
家にいながらでも今より少しでも生活を便利にするために。  
もっともっと地域にはたくさんの支えがあります。  
話しかけやすい人、声をかけやすい機関に遠慮なく声をかけてください。」  
お問い合わせ先：元気スタンド・ぷリズム  
協力：埼玉健康と暮らしを支える市民勉強会」

## ○その他

まだまだあるので、あとはちょっとずつ。

いろいろと仕掛けづくりをしても、男性は腰が重く、来るのは女性ばかり……ということは往々にしてあるもので

す。

そこで、小泉さんは男性が喜ぶ(?)『キャバレー』を企画しました。

栄養士さんや看護師さんたちも、華やかな衣装で参加されたそうです。

Program 3/5 (日)

◆ 13:00 開場 ◆

13:15 流行りの音楽に合わせて、園遊者さんによるPTKR(口遊体操)で盛り上がりましょう!

13:30 プロのジャズシンガーであり作業療法士さんによる「ちょっとおしゃれなそしてどこか懐かしいジャズ!」カッコいい大人にお届けします

15:15

15:30 スポーツクラブインストラクターによる「顔と身体、笑って元気アップ!」

16:00

16:15 見習いたいカッコいい体操

16:45 武道体操ショー

◆◆ 17:00 閉店 ◆◆

◆場所：ホテルグリーンコア本館1階 宴会場◆  
◆時間：13:00~17:00◆  
◆参加費：1,000円 (飲み物1杯とおつまみセット) 飲み物の追加は別途100円より

定員48名 ご予約承ります ※お申込みは裏面の問合せ先まで

飲み込みなどに不安がある方、最近すっかり呑みに行けなくなってしまう方、60歳以下の方、ご自身で普段お店に呑みにいける方はご遠慮ください

看護師さんがホステス!? 健康の悩みを気軽に相談

作業療法士さんやスポーツインストラクターのショータイム

管理栄養士さんプロデュース! すべてスプーンで食べる やわらかおつまみ

なごといいな♪出来たらいいな♪な夢、こんな夢、いっぱいあるなら...

## しあわせすぎプロジェクト

3/5 (日)

みんなで一緒に叶えてみませんか?

自分たちで新しい企画をたて、仲間を募集して実現に向けたプロジェクトを立ち上げましょう

例えば...

- 街中にみんなの休憩用ベンチを作ろう!
- 幸手の名産品を作ろう!
- 地元の伝統を知ろう、復活させよう!

場所/ウェルス幸手大会議室 ◆時間/10:00~12:00

15日(日) 無料 シャトルバスが運行します

「人生これから！引退するにはまだ早すぎる！！」ということで、小泉さんは、「ハローワーク」と「シルバー人材センター」の合同就職説明会を開催しました。

**参加無料**

**3/5 (日) 60歳からの 合同就職説明会**

人生これから！引退するにはまだまだ早すぎる！！

ウェルス幸手 2階 研修室 12:00～16:00

**個別相談コーナー** 13:00～16:00  
不安や悩みを相談して 一歩踏み出す足がかりにしてください

**ハローワーク** による就職相談  
2/1 幸手市役所内にふるさとハローワークがOPEN!

**シルバー人材センター** による登録相談  
3/16 センターにて登録説明会開催

**求人案内掲示コーナー**  
60歳以上も活躍できる様々な募集をご紹介します

企業・店舗などの就職募集  
ボランティアなどの募集  
サークルなどの募集

協力：ハローワーク/シルバー人材センター  
幸手市社会福祉協議会/利根地域振興センター

**2:00～13:00** **しあわせすぎスピーチ**  
こは、地域を良くしたい!と活動されている方がん!皆で想いを共有したら、もっと大きな力にられません。どんな幸せが語られるのでしょうか。

**埼玉健康と暮らしを「守れんのか!?!」**  
支える市民船橋会

「大丈夫」が口癖になっていませんか?いざという時、自分を守るためにしっかりと理解して備えましょう。

《講演プログラム》

13:15 ◆振り込み詐欺寸劇 「還付金詐欺を防ぐために」  
《協力：幸手警察生活安全課》

14:00 ◆うっかり買わされてしまったら  
《協力：幸手市消費生活センター》

14:45 ◆悪質な投資勧誘にだまされないために  
《協力：財務省関東財務局》

15:15 ◆認知症の方の財産を守る 市民後見人とは?

16:00

**会場案内図**

個別相談コーナー  
求人案内掲示コーナー  
講演ステージ

冒頭の小泉さんの写真の横に、実は高齢者の見守りセンサー(体温や振動を感知して、さり気なく安否の確認をしてくれるセンサー)があります。



これも、小泉さんのカフェで貸出受付をしています。

すごいですね。これらの事業、小泉さんが、周りの方々のお手伝いをいただきながら、ほぼ1人でやっているそうです。もちろん、カフェもやりながら。いつ行っても、小泉さんがコーヒー淹れてくれるので、オーナー兼ホール係でもあるわけです…。

しかもこれらの事業、ほぼほぼ収益は上がらないそうです。ま、地域の高齢者が元気になるために、いろいろ考えて、制度にないことを勝手にどんどんやっているわけですから、ある意味「採算性がない」のは当たり前かも知れませんが…。

でも振り返って我々、医療介護従事者の日常を考えてみると、本当はその人に必要なことなのに…「制度にない」とか「点数が取れない」とか、こちら側の理由で諦めざるを得ないことも多々あります(自戒を込めて)。

いや、もしかしたら制度に縛られてしまうからこそ、かえって高齢者の生活を縛ってしまうこともあるのかも。先日、ある有料老人ホームに行ったら、こんな紙が貼ってありました。

デイサービスの  
時間中は、  
2階の各人の  
お部屋には、  
帰えれません！

時間

午前10時より

午後5時00分  
まで！

もちろん、デイサービス居てもらわないと介護報酬が貰えないとか施設側の都合は分かります。でも、7時間も高齢者の自由を奪ってしまう制度、それに縛られてしまう介護って...何なんでしょう。これが高齢者の生活支援なんでしょう。

介護の世界は民間企業が多いので、それも仕方ないことかもしれません。でも、一般的に考えられているような、『民間企業による自由な競争(=自由市場)が、サービスの向上、適正な価格という社会全体として最適な状態(パレート最適)をもたらす』というイメージは、介護の世界ではあまり通用しないのかもしれない。これも「市場の失敗」なんでしょう...('市場の失敗')については、以下を参照してください。)

医療市場の失敗...内閣府の『見える化』が暴露した不都合な真実(医療経済学)  
<http://www.mnhrl-blog.com/entry/2017/05/02/market-failure>